

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公表番号】特表2007-513165(P2007-513165A)

【公表日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2006-542727(P2006-542727)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/4745	(2006.01)
A 6 1 K	31/4375	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/4745	
A 6 1 K	31/4375	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/573	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月30日(2007.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

グルココルチコイド、非ステロイド系消炎薬、免疫抑制薬、または免疫療法薬を含む消炎成分；および

イミダゾナフチリジンアミン、テトラヒドロイミダゾナフチリジンアミン、オキサゾロキノリンアミン、チアゾロキノリンアミン、オキサゾロピリジンアミン、チアゾロピリジンアミン、オキサゾロナフチリジンアミン、またはチアゾロナフチリジンアミンを含むIR

M成分；
を含む併用薬。

【請求項2】
TLR8選択的アゴニストを含むIRM成分；および
消炎化合物を含む消炎成分；
を含む併用薬。

【請求項3】
IRM化合物で治療可能な状態を治療するための、IRM化合物及び消炎化合物を含む併用薬
であって、ここで、
(a) 前記IRM化合物が前記状態を治療するのに有効であり；かつ
(b) 前記消炎化合物が前記IRM化合物投与の副作用を制限するのに有効である、
前記併用薬。

【請求項4】
TLR8選択的アゴニストであるIRM化合物で治療可能な状態を治療するための、TLR8選択的アゴニストであるIRM化合物及び消炎化合物を含む併用薬であって、ここで、

(a) 前記TLR8選択的アゴニストであるIRM化合物が前記状態を治療するのに有効であり；かつ
(b) 前記消炎化合物が、前記TLR8選択的アゴニストであるIRM化合物投与の副作用を制限するのに有効である、
前記併用薬。

【請求項5】
消炎化合物で治療可能な状態を治療するための、IRM化合物を含む医薬組成物であつて、ここで、前記医薬組成物が前記消炎化合物により引き起こされる免疫抑制を制限するように設計されている、前記医薬組成物。

【請求項6】
消炎化合物で治療可能な状態を治療するための、IRM化合物及び消炎化合物を含む併用薬であつて、ここで、
前記消炎化合物が前記状態を治療するのに有効であり、かつ
前記IRM化合物が免疫抑制を制限するのに有効である、
前記併用薬。